

問1 札幌市の中心部に見られる、道路が垂直と水平に規則正しく交差するように設計され、住宅地や商業地が正方形に近い区画で整理されている街路の形態を何と呼びますか。（2020年 島根公立入試 類似）

1. 格子状の街路 2. 放射状の街路 3. 同心円状の街路 4. 不規則な街路

問2 北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷と、その地域への影響について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。 2. 暖流の影響で海水が蒸発して氷になったもので、夏の冷害を引き起こす原因となっている。 3. 太平洋側から北上してくる大規模な氷山で、冬の間の船舶の往來をすべて止めている。 4. 日本海の雪が海に流れ出て固まったもので、主に水田の灌漑用水として利用されている。

問3 都道府県別にみた観光地の特徴に関する統計において、自然の観光地数が90か所以上、レクリエーション地数が250か所以上と際立って多い一方で、国指定の重要文化財（建造物）の数は30か所未満にとどまるという特徴を持つ都道府県はどこか、次の中から選びなさい。（2015年 岐阜公立入試 類似）

1. 北海道 2. 京都府 3. 奈良県 4. 東京都

問4 北海道の酪農において、近年の統計で見られる「飼育戸数が減少しているにもかかわらず、全体の生乳生産量が増加している」という現象の背景にある、生産体制の工夫を説明する用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 経営規模の拡大と機械化 2. 地産地消と手作業の重視 3. 減反政策と多角経営 4. 施設園芸農業と有機栽培

問5 冬の北海道において、北東部の海域が白い氷で覆い尽くされる「流氷」が見られる海域の名前と、その氷が形成される場所の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 愛知公立入試 類似）

1. オホーツク海 — シベリア沿岸 2. 日本海 — サハリン沿岸 3. 太平洋 — カムチャツカ半島沿岸 4. 瀬戸内海 — 中国大陸沿岸

問6 北海道東部の太平洋側において、夏に発生する濃霧がもたらす低温や日照不足といった気候条件に適応するために、この地域で古くから発展してきた農業の特徴はどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 涼やかな気候でも育つ牧草を利用し、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。 2. 温暖な気候が必要な米の品種改良を進め、広大な平野で二毛作を行う。 3. 山地を切り開いて段々畑を作り、水はけを良くして果樹栽培を行う。 4. 夏の涼しさを利用して、東京などの大消費地向けにレタスなどの高原野菜を栽培する。

問7 北海道北端の稚内付近における、夏季の日照時間と周辺海流の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この地域では5月から6月にかけて日照時間がピークを迎え、全体として夏季の日照時間が長くなる傾向があります。（2021年 兵庫公立入試 類似）

1. 高緯度に位置するため夏季の昼の時間が長く、日本海沿岸を北上する対馬海流が地域の気候に影響を与えている。 2. 低緯度に位置するため太陽の高度が常に高く、太平洋沿岸を北上する日本海流（黒潮）が湿った空気を運んでいる。 3. 寒流である千島海流（親潮）の影響で夏季に大規模な濃霧が発生するため、高緯度であっても日照時間は極めて短くなる。 4. 季節風を遮る高い山脈の影響でフェーン現象が発生しやすく、暖流のリマン海流の影響で夏季は乾燥した晴天が続く。

問8 日本の積雪寒冷地では、道路の上方に下向きの矢印が描かれた標識が設置されていることがあります。この標識を設置する主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2021年 兵庫公立入試 類似）

1. 吹雪や積雪によって路肩の境界が見えなくなるのを防ぎ、道路の端を示すため 2. 急な上り坂が続くことを運転者に知らせ、低速走行を促すため 3. 野生動物が道路を横断する可能性が高い地点であることを警告するため 4. 除雪車が雪を捨てる場所を指定し、作業の効率化を図るため

問9 北海道の各地域の自然環境について述べた文のうち、網走や紋別などを含むオホーツク海沿岸の特色として最も適切なものはどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。 2. 夏に千島海流（親潮）の上を吹き渡る湿った冷たい風の影響で、濃霧が発生しやすい。 3. 十勝平野を中心に火山灰の土壌が広がっており、大規模な畑作や酪農が行われている。 4. 対馬海流の影響を強く受け、冬には北西の季節風によって日本海側に大量の雪をもたらす。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>格子状の街路</b>	明治時代に設置された開拓使による都市計画において、札幌市の中心部には京都の街並みや北米の都市を参考にした道路網が築られました。このように直角に交わる道路で構成された街画は、土地の管理を容易にし、計画的な都市開発を進める上での大きな特徴となっています。
問2	<b>答え 1</b> <b>シベリア沿岸で生まれた氷が南下してくるもので、冬の重要な観光資源として活用されている。</b>	流氷はシベリア沿岸で発生し、海流に乗ってオホーツク海を南下して北海道の北東岸に到達します。かつては漁船の出港を妨げるなどの負の側面が強調されましたが、現在では砕氷船（ガリンコ号やオーロラ号）による観光や、流氷とともにやってくるクリオネなどの観察といった観光資源としての側面が重視されています。他の選択肢にある冷害の原因は主に夏の「やませ」などであり、流氷の性質とは異なります。
問3	<b>答え 1</b> <b>北海道</b>	北海道は、明治時代以降の開拓という歴史的背景から、京都府や奈良県のような古都と比較して歴史的な建造物の数は少ない傾向にあります。その一方で、広大な土地と豊かな自然環境を活かした国立公園などの自然景勝地や、スキー場・キャンプ場といったレクリエーション施設が非常に多く、自然観光を中心とした独自の産業構造を持っています。
問4	<b>答え 1</b> <b>経営規模の拡大と機械化</b>	酪農家1戸あたりの飼育頭数を増やして効率を上げる「経営規模の拡大」と、搾乳ロボットなどの導入による「機械化」が組み合わせることで、労働負担を軽減しながら高い生産性を確保しています。統計上でも、100頭以上の大規模な飼育戸数の増加や、搾乳ロボットの普及率の劇的な上昇にその傾向が表れています。
問5	<b>答え 1</b> <b>オホーツク海 — シベリア沿岸</b>	流氷は、冬にシベリア沿岸で凍った海水が、季節風や海流の影響で成長しながらオホーツク海を南下することで発生します。北海道の北東部に位置するオホーツク海沿岸は、世界的に見ても流氷が到達する緯度が非常に低い地域として知られており、冬特有の自然現象となっています。
問6	<b>答え 1</b> <b>冷涼な気候でも育つ牧草を利用し、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。</b>	道東の太平洋側では、夏の濃霧による日照不足や低温（冷害）の影響で稲作が困難でした。そのため、冷涼な気候でも育つ牧草を栽培し、それを飼料として牛を育てる酪農が発展しました。特に根釧台地などは、日本を代表する酪農地帯として知られています。
問7	<b>答え 1</b> <b>高緯度に位置するため夏季の昼の時間が長く、日本海沿岸を北上する対馬海流が地域の気候に影響を与えている。</b>	北半球では高緯度になるほど、夏季における昼の時間が長くなるという天文学的な特徴があります。そのため、北海道北端の地域では、本州以南と比較して夏季の日照時間が長くなりやすい条件にあります。また、北海道の西側の日本海沿岸には、暖流である対馬海流が北上しており、これが周辺の気候に影響を及ぼしています。太平洋側で夏に濃霧を発生させ、日照時間を減少させる要因となるのは寒流の千島海流（親潮）であり、日本海側の特徴とは異なります。
問8	<b>答え 1</b> <b>吹雪や積雪によって路肩の境界が見えなくなるのを防ぎ、道路の端を示すために工夫されています。</b>	北海道や東北地方などの積雪寒冷地では、冬に大量の雪が積もったり吹雪が発生したりすると、地面にある路肩のラインやガードレールが見えなくなることがあります。そのため、高い位置に固定式の標識を設置することで、積雪時でも運転者が道路の幅を正しく認識し、安全に走行できるように工夫されています。
問9	<b>答え 1</b> <b>冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。</b>	オホーツク海沿岸の最大の特徴は、冬に見られる流氷です。これはアムール川からの淡水流入などで塩分濃度が低くなった海域で氷が形成され、それが南下してくることで起こります。他の選択肢については、夏の濃霧は太平洋側、火山灰土壌（シラスや黒土）による大規模農業は十勝平野など、日本海側の豪雪は季節風と対馬海流の影響によるものであり、地域ごとの気候区分を正しく理解しておくことが重要です。